

平成 24 年 6 月 21 日
独立行政法人 防災科学技術研究所

病院スタッフのための地震対策ハンドブック -あなたの病院機能を守るための身近な対策-の作成について

独立行政法人防災科学技術研究所(理事長：岡田義光)は、文部科学省委託研究「首都直下地震防災・減災特別プロジェクト」(平成19年度～23年度)において実施したE-ディフェンスを活用した医療施設の実大震動実験による研究成果を、将来の大地震から病院を守る手助けとなる、病院スタッフのための地震対策ハンドブックとしてとりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 作成の目的

防災科学技術研究ではE-ディフェンスを用い、来るべき大地震に備えて、大地震にどのような被害が発生し、またどのような対策が有効であるかの研究を進めています。それらの研究の中で、災害時の拠点となる医療施設に関して「E-ディフェンスを用いた地震災害時における医療施設の機能保持評価のための震動台実験」を平成20及び22年度に実施し、実大建物の試験体の中で発生する様々な被害と地震対策の有効性が確認されました。

今回作成したハンドブックは、将来起こり得る大地震に備え、このままではどのような被害が生じるか、それを回避するためには今何をすべきで、どう具体的に行動すべきかの答えを探る手助けとなるよう、本実験結果を中心にとりまとめています。あわせて、E-ディフェンスで実施した世界初の医療施設の震動台実験の動画データから、地震対策の必要性と対策方法とその効果を理解して頂くためのDVDも纏めました。これらが、病院スタッフ、病院管理者、病院設計者をはじめ、医療機器・什器メーカーの方々まで、広く活用して頂き、将来の大地震から病院を守るための手助けとなる事を目的として作成しました。

2. 配布計画・公開Webページ

(配布計画)

主要医療施設等関係機関に配布。その他、希望機関・希望者には原則無料配布。

(公開Webページ)

URL：<http://www.bosai.go.jp/hyogo/syuto-pj/outcome1.html>

3. 本件配布先：文部科学記者会、科学記者会、筑波研究学園都市記者会、厚生労働記者会、兵庫県政記者クラブ、三木市政記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ

【内容に関する問い合わせ】

独立行政法人 防災科学技術研究所 兵庫耐震工学研究センター
井上貴仁(副センター長)、佐藤栄児(主任研究員)

【連絡先】

独立行政法人 防災科学技術研究所 兵庫耐震工学研究センター
E-mail e-def@bosai.go.jp
TEL 0794-85-8211(代表) FAX 0794-85-7994

病院スタッフのための地震対策ハンドブック -あなたの病院機能を守るための身近な対策-

【成果物の内容】

将来起こり得る大地震に備え、このままではどのような被害が生じるか、それを回避するためには、今何をすべきで、どう具体的に行動すべきかの答えを導き出す手助けとなるのが、本ハンドブックです。

医療スタッフを対象として、自分が関わっている医療施設が来るべき大地震に襲われても、医療施設内の人々の身を守り、さらには医療施設としての機能を保持させ続けるために、どのような地震対策を実施することが良いのかを、本実験研究で明らかとなった事実に基づいて具体的に示しています。

大地震による被害を想像できるような資料であるため、医療機器・什器メーカー等がこれまでほとんど考えていなかった地震被害について新たに考えさせることができ、更には地震対策を考慮した新たな医療機器を設計するうえでの参考資料にも成り得ると考えています。

本ハンドブックとともに、Eーディフェンスで実施した世界初の医療施設の震動台実験の動画データから、地震対策の必要性と対策方法とその効果を理解して頂くとともに、教育や啓発に利用頂くためのDVD「大地震への備えー機能保持をめざしてー」を纏めました。

【成果物の概要】

医療施設が地震に見舞われた時の被害を予測します。それらの被害を軽減させ、施設の機能を保持させるための参考資料です。また、実際の地震時の状況を把握しやすくするため、Eーディフェンスでの実験映像データを取りまとめました。

【想定される利用者】

医療従事者、病院経営者、病院設計者、患者様、医療機器・什器製作メーカー、地震対策の興味がある方、一般国民

【成果物】

